



最前線で活躍する男性を紹介する『MY WAY』。平成19年5月～21年4月にかけて、24人を紹介しました。(H19.7/1号・55)

創刊から3年目に入り、表紙デザインをリニューアル。特集『合併、その後』を掲載し、伊豆の国市の合併効果を検証しました(H19.5/1号・51)。



2007
(平成19年)



特集『映像という戦略』(H19.12/1号・65)



年々増え続けるごみ処理量の減少を目指した、特集『生ごみ減量大作戦』(H19.8/1号・65)

特集 広報 いずのくに 100号記念

広報で振り返る、

2005
(平成17年)

(H17.7/1号・7)



輝いている女性を紹介する『いずのくにの女(ひと)』。平成17年5月～19年4月までに、24人を紹介しました。

市長・市議選の結果も報じました(H17.5/15号・4)。



お知らせ版も創刊(H17.4/15号・2)



記念すべき創刊号(H17.4/1号・1)



『文化財通信(左)』『図書館だより』『PHOTOぎやらりー(上)』といった、現在も続く長寿コーナーが連載開始しました(H17.5/1号・3)。

伊豆の国市の5年

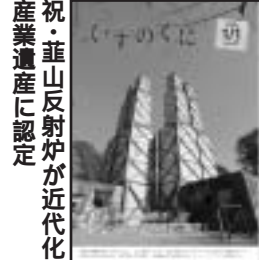
2008
(平成20年)



特集『わたしたちは忘れない狩野川台風から50年』(H20.9月号・80)



(H20.1/1号・67)



(H20.4/1号・73)



市民アンケートの結果、毎月15日に新聞折り込みで発行していた『お知らせ版』を廃止し、広報の発行形式を統一することになりました。

特集『もしも地震が起こったら』(H20.9月号・80)



特集『国民文化祭開催まであと1年』(H20.10月号・81)

(H18.7/1号・31)



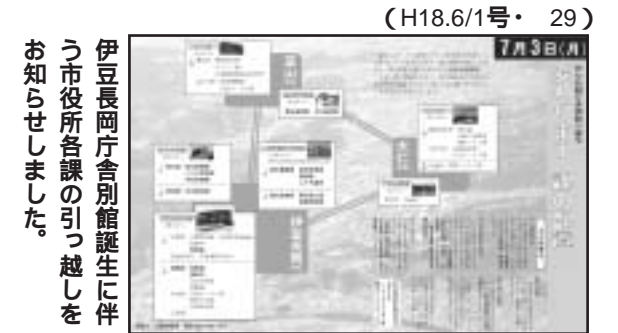
当時は市の花・市の木が決まっておらず、広報紙で募集していました。

2006
(平成18年)



(H18.10/1号・37)

ねりんピック・ベタンク代表の皆さんを表紙に(上)ノ『伊豆ナンバー導入』の記事を田方2市1町で同時掲載(右)



この年、市が正式に京都府長岡京市と姉妹都市盟約を締結したことを報じました(H18.12/1号・41)。

『広報いずのくに』をもっとよくなるための
 ご意見やご提案を、多くの市民の皆さんから
 いただきました。ありがとうございました。

市民の意見や提案を
 のせるページを広報に
 も設けてほしい(71歳・
 女性)。

広報いずのくにでは年2
 回、市民の皆さんのご意見や
 提案を市政にいかすための
 『まちづくりご意見箱』を実
 施しています。

来月号に、平成22年上半期
 用のご意見用紙を挟み込む予
 定です。

広報紙に穴をあけて
 くれれば保存しやすく
 て良い(68歳・女性ほか)。
 パンチ穴は、経費節減と掲
 載内容の制限をなくするため、
 平成19年5月1日号から廃止
 してまいりました。しかし、皆さ
 んの使いやすさを最重視し、
 今月号から再び、パンチ穴を
 開けさせていただきます。

最近の紙面はお知ら
 せが多く、ゴチャゴチャ
 して見にくいときが
 ある(61歳・男性ほか)。

お知らせ(情報)は多
 い方がよい。読む側が
 取捨選択すればよいの
 で(35歳・女性)。

お知らせ記事は、なるべく
 シンプルに集約し、見やすさ
 に配慮していきます。

旧町の広報紙のよう
 に、市民の訃報(おくや
 み)記事があるとよい。
 (62歳・女性ほか)
 個人情報悪用した商行為
 (悪質訪問販売)などが社会
 問題となっている近年では、
 故人の情報の掲載を控えてい
 ます。個人情報が悪用され、
 市民の価値観が多様化するな
 かで、旧町の広報紙のように
 新生児名や故人名の一覧を掲
 載することは大変難しくなっ
 ています。ご理解ください。

『おおきくなぐれ』に
 2回も落選した。なる
 べく多くの子どもたち
 が掲載されるよう、工
 夫して(匿名様ほか)。

先月号の掲載分(4月生ま
 れのお子さん)から、枠を増
 やし、最大7人まで掲載でき
 るようにしました。また、募
 集条件を少し変更し、2〜4
 歳のうち、4歳(応募資格の
 最終年齢)のお子さんを優先
 して掲載するようにし、残り
 枠は抽選としました。携帯電
 話からも申し込みますので、
 ぜひ応募ください。

オールカラー印刷に
 してください(69歳・男
 性ほか)。

広報紙の印刷・製本は、業
 者さんと、一色(黒インク)の
 みで印刷)の場合と、四色
 (カラー印刷)の場合と別々
 の値段で契約しています。
 つまり、同じページ数の広
 報紙でも、一色ページが多け
 れば安く、四色ページが多け
 れば高くなっています。
 限られた予算の中ですが、
 特集記事など、特に皆さんに
 読んでいただきたい記事の
 ときには、カラーページを増や
 していきたいと思えます。

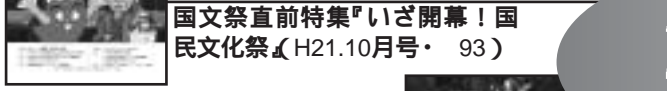
インタビュー形式の
 記事などもよいので
 は?(62歳・女性ほか)
 学生の活躍、活動を
 取り上げてもらいたい
 (15歳・女性)。

平成21年4月号(87号)ま
 で連載し、好評だったインタ
 ビューコーナー『MY WAY』
 を次号から再開します。「私
 の道」を、輝いて生きている
 老若男女にスポットをあて、
 皆さんにご紹介します。
 どうぞお楽しみに!

101号からも『広報いずのくに』
 にご期待ください。

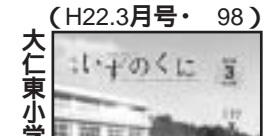


伊豆の国市第2ステージ始動
 市長第2期就任の抱負と市議
 会構成(H21.6月号・89)



国文祭直前特集『いざ開幕! 国
 民文化祭』(H21.10月号・93)

2009
 (平成21年)



(H22.3月号・98)

大仁東小学校閉校を表紙に



葦山竹灯籠まつり
 (H21・12月号・95)

2010
 (平成22年)



田方2市1町による共同編集『つながる医療~地
 域の緊急医療を知る~』を掲載(H21.9月号・92)



国文祭開催報告『プレイバック! 国文祭』や、『近代化
 産業遺産群サミット&シンポジウム開催報告』を掲載
 (H22.1月号・96)



過去の広報紙を
 読みたい人は:
 創刊から最新号まで
 の、すべての『広報いず
 のくに』(バックナンバー)
 は、市内3図書館で閲覧
 することができます(館
 内閲覧のみ)。
 また、インターネット
 ができる人は、伊豆の国
 市ホームページでも、す
 べての『広報いずのくに』
 はご覧になれます(フア
 イルのダウンロード可)。
**バックナンバーの
 余りを配布します**
 現在、市役所秘書広報
 課には、過去の広報紙
 (バックナンバー)の余り
 が多少残っています。
 そこで次の期間中、市
 役所伊豆長岡庁舎で、皆
 さんに無料配布します。
 と き 5月6日(木)
 ~ 28日(金)
 と ころ 市役所伊豆長岡
 庁舎1階ロビー
 *バックナンバーが残っ
 ていない号もありま
 す。あらかじめご了承
 ください。